

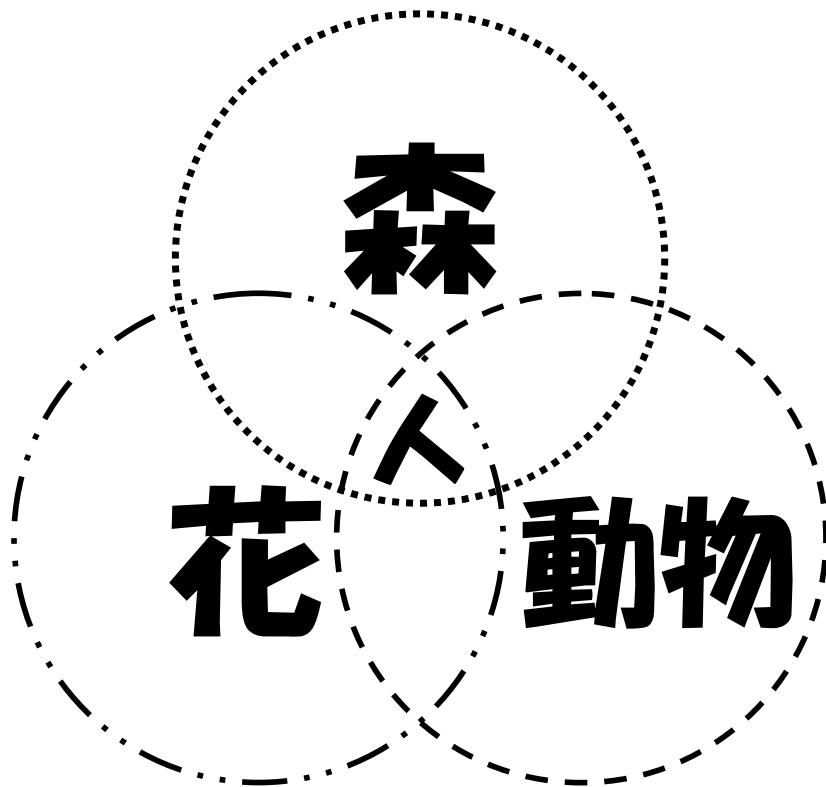
第12回

オホーツクみどり検定

問題集

(解答・解説付き)

令和4年8月11日実施予定



【留意事項 1】

問題等の文章に「オホーツク地域」という言葉が出てきますが、ここでいう「オホーツク地域」とは、オホーツク総合振興局管内（旧網走支庁管内）のことを言います。

【留意事項 2】

検定は、**基礎編**と**ガイド編**の2種類があります。

基礎編はこの問題集から**50問**出題されます。

ガイド編はこの問題集から**全問（130問）**出題されるほか、野外にて**樹木・草花判別問題40種類（樹木30種類、草花10種類）**が出題されます。

正解率90%以上で、「クラウン」となります。

正解率80%以上で、「マスター」となります。

正解率70%以上で、「1級」となります。

正解率60%以上で、「2級」となります。

正解率50%以上で、「3級」となります。

※ **ガイド編**の判定(称号)は、筆記検定と野外検定の樹木・草花の結果を合わせた正解率で決まります。
(筆記(問題集)の正解率×25%) + (樹木の正解率×50%) + (草花の正解率×25%)
として計算します。

(基礎編、ガイド編ともに検定実施後、1ヶ月程度で結果をご連絡いたします。上記の正解率を達成した方には認定書を送付します。)

【留意事項 3】

野外検定で出題される樹木、草花の種類は別紙「**オホーツクみどり検定（ガイド編）野外検定用樹木・草花**」に掲載されていますのでそちらをご覧ください。

【留意事項 4（受検対象者）】

○ 基礎編

対象制限なし

○ ガイド編

次の①及び②の条件をすべて満たす方

- ① 実施会場まで直接集合することができる方
- ② 2時間程度林内を歩くことに支障のない方

【日時・場所】

1 実施日：令和4年8月11日（祝）

- 基礎編 < 時間 > 受付：10時00分～10時30分
実施：10時40分～11時30分（筆記検定）
- ガイド編 < 時間 > 受付：12時30分～12時50分
実施：13時00分～13時50分（筆記検定）
14時00分～16時00分（野外検定）

2 場所：網走市駒場北6丁目ほか
(筆記検定会場) こまば木のひろば「森の家」2階
(野外検定会場) こまば木のひろば

※1 受付は、こまば木のひろば「森の家」で行います。

※2 ガイド編の受検者全員が筆記検定を終了時間前に終えたときは、野外検定の開始時間を早めることがあります。

※3 ガイド編については、大雨の場合は中止します。中止の連絡方法等については申込み後に連絡します。小雨の場合は、決行します。

【持ち物・服装】

- 基礎編・ガイド編とも
筆記道具（鉛筆、消しゴム等）
- ガイド編
林内を歩きますので長靴等や動きやすい服装とし、タオルや水などを各自で用意してください。
雨天の場合は、合羽等を準備してください。

【申込先・連絡先】

- 名称 オホーツクみどりネットワーク事務局
- 連絡先 北海道オホーツク総合振興局産業振興部林務課（担当：佐藤、伊藤）
- 住所 〒093-8585 網走市北7条西3丁目
- 電話 0152-41-0721
- FAX 0152-45-0553
(電話受付は、平日の毎日8時45分から17時30分まで)

【その他】

野外検定の受検のための研修会を事前に「こまば木のひろば」で行います。

主催は、「みどりネットワークガイド友の会」です。参加希望者は、「みどり検定参加申込書」の野外研修欄の「希望する」を選択してください。詳細の日程等については、後日、みどりネットワークガイド友の会より連絡いたします。

問題及び解答・解説

【森林関係】

第1問

オホーツク地域の森林面積は約何ヘクタール？

- ① 7千7百 ② 7万7千 ③ 77万 ④ 770万

答え③

オホーツク地域の森林面積は約77万ヘクタールで、道内14の管内で上川に次ぐ2番目の面積です（平成22年4月の区域変更までは一番でした）。これは静岡県や宮崎県の土地面積に匹敵し、森林面積では、都道府県別順位第7位の秋田県と第8位の山形県の間に当たります。

第2問

オホーツク地域の森林の占める割合は全道平均を上回る72%ですが、その中でも80%を超える市町村はいくつ？

- ① 2 ② 4 ③ 5 ④ 6

答え③

滝上町、西興部村の89%をはじめ、遠軽町、津別町、置戸町の5町村が80%を超えています。逆に低いのは、網走市で34%しかありません。

第3問

オホーツク地域の市町村で一番森林面積の多い市町村はどこですか？

- ① 北見市 ② 斜里町 ③ 滝上町 ④ 遠軽町

答え④

遠軽町の森林面積は、およそ11万7千ヘクタールで、全道でも一番です。

第4問

網走市と北見市にまたがり卯原内ダムに隣接した森林環境教育などに利用されている約3,700ヘクタールの国有林の呼び名は何の森？

- ① 網走 ② 北見 ③ オホーツク ④ 流氷

答え③

「オホーツクの森」には、巨樹がたくさんあり、案内看板が豊富で、学びながら森林散策が楽しめる「古（いにしえ）の森」や、林野庁の職員の指導で植樹などが体験できる「自然再生モデル事業林」などがあります。

第5問

北見市常呂町にある東京大学のオホーツク文化の考古学的研究のフィールドとなっている森の名称は？

- ①モヨロの森 ②オホーツク遺跡の森 ③ところ歴史の森 ④ところ遺跡の森

答え④

「ところ遺跡の森」はカシワ、ミズナラを中心とした落葉樹の自然林（面積 12ha）で、森の中の散策路を歩くと縄文、続縄文、擦文時代などの縦穴居住跡を見ることが出来ます。隣接して東京大学の実習施設があり、ワッカ原生花園へも近いです。

第6問

網走市のショッピングセンターに隣接している森林散策が楽しめる公園の名称は？

- ①オホーツク流氷公園 ②健康の森 ③こまば木のひろば ④みどりの村森林公園

答え③

「こまば木のひろば」では、四季折々の草花や色々な種類の樹木の中での散策やバードウォッチングが楽しめます。また、エゾリスにも出会え、晴れている日には、オホーツク海の向こうに知床連山を望むことができます。

第7問

「オホーツク・ファイン・トレール」という全長5キロメートルの森林散策路が整備されているキャンパスのある大学は？

- ①北海道大学 ②東京農業大学 ③東京大学 ④北見工業大学

答え②

「オホーツク・ファイン・トレール」は、東京農業大学のオホーツクキャンパスに作られた、全長5kmの山道です。2002年に学生と教職員が共同で整備したものです。キャンパスを中心に、家畜の放牧場と知床連山などの自然景観、野生動物の棲家や開拓の遺物などを、動植物の四季の変化とともに楽しめます。

第8問

北見市上とろ市街地の南にある金刀比羅山は、ゴールデンウィーク前後に、春の風物詩のある花でいっぱいになります。それは何？

- ①タンポポ ②ミズバショウ ③サクラ ④コブシ

答え③

金刀比羅山には、金刀比羅さくら公園があり、昭和20年代に植えられたエゾヤマザクラが千数百本あり、桜の名所として知られています。

第9問

北見市温根湯にある山は、ゴールデンウィーク前後に、春の風物詩のある花でいっぱいになります。山の名称にもなっている、それは何？

- ①タンポポ ②ミズバショウ ③ツツジ ④コブシ

答え③

北見市温根湯にある「つつじ山」には、約7万株、28万本のエゾムラサキツツジが生えていて、北海道の天然記念物となっています。「つつじ山」のとなりにある「つつじ公園」では、「おんねゆ温泉つつじ祭り」も開催されます。

第10問

津別町の西側には、森林に囲まれた湖があります。それは何湖？

- ①能取 ②チミケップ ③サロマ ④濤沸

答え②

チミケップ湖の周辺はエゾマツ、トドマツなどが生い茂る原生的な森林で、天然記念物のクマガラをはじめギンザンマシコなど多数の野鳥や野生生物に出会うことができます。また、阿寒湖と並ぶヒメマスの原産湖として知られています。「野鳥公園」「樹木園」等の林内には遊歩道が整備されており、自然観察や森林浴が気軽に楽しむことができます。紅葉の名所としても知られています。

第11問

湧別町上湧別にあり、樹齢100年を超える桜や7,000本のツツジ、水芭蕉、様々な野草などが咲き誇る森林公園の名称は何鹿山？

- ①一 ②五 ③六 ④七

答え②

五鹿山（ごかざん）公園には、フリーテントサイトやオートキャンプ場、ログキャビンも整備されており、大自然の中での森林浴やアウトドアライフを楽しめます。また、園内には150種類もの貴重な高山植物を觀賞できるロックガーデンや木製遊具、パークゴルフ場もあります。

第12問

清里町の南に、摩周湖の伏流水によってできた、青い清水を湛える池があります。この池の名称は？

- ①青い池 ②神の子池 ③大正池 ④姿見の池

答え②

「神の子池」は、摩周湖の地下水によってできた青い清水を湛える池です。摩周湖からの地下水が湧き出ている山の奥にある池で、摩周湖（カムイトー＝神の湖）の伏流水からできているという言い伝えから「神の子」池と呼ばれています。

神の子池の伏流水は1日12,000tも湧き出しており、周囲220m、水深5mの小さな池ですが、水が澄んでいるので底までくっきりと見えます。

また水温が年間通して約8℃と低く、倒木が青い水の中に腐らずに化石のように沈んでおり、その間を朱色の斑点を持つオショロコマが泳ぐ景観は何ともいえない不思議な美しさがあります。池の周りに散策路があり、森林浴ができます。

第13問

「丸瀬布森林公園いこいの森」は周囲を山々に囲まれた緑がたっぷりの公園で、小鳥のさえずりを聞きながらのキャンプや溪流釣りなど、大自然を満喫できます。その公園の中を走る、かつて木材を運び丸瀬布の産業を支えてきたSLの名前は雨宮何号？

- ①19 ②20 ③21 ④22

答え③

「雨宮21号」は東京・雨宮製作所で製造された初の国産11トン機関車です。昭和3年から国有林から伐り出した丸太や生活物資の搬送に使用されてきたが、昭和36年に廃止。地元の強い要望で昭和51年、北見営林局から旧丸瀬布町に譲渡され、現在「丸瀬布森林公園いこいの森」で走っています。動態保存は道内では唯一のものであります。

第14問

滝上町市街地の中央を流れる渚滑川の渓谷の名称は何仙峡？

- ①古 ②里 ③錦 ④飾

答え③

錦仙峡(きんせんきょう)では、春は清流に映える新緑、夏は木陰の涼、秋には紅葉、野鳥と出会うバードウォッチングと四季を通じて楽しむことができます。ハーブガーデンと渓谷遊歩道を組み合わせた「ハーブと錦仙峡を訪ねるみち」が、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に認証されています。

第15問

西興部村の西の興部川には、3つの滝があります。それぞれ、「〇〇の滝」という名称がありますが、その中に含まれていないのは、次のどれ？

- ①行者 ②大蒜 ③赤岩 ④黒岩

答え②

「行者の滝」は、かつて行者が滝に打たれながら親の病気回復を祈願したことから名付けられました。その上流にある「赤岩の滝」は高さ約8メートルほどですが、滝つぼから下流80メートルほどにわたって、河床は煉瓦色の軟磐で覆われ、幻想的です。さらに上流にある「黒岩の滝」は岩盤が黒く、水量が多いため、迫力があります。

第16問

オホーツク地域には「鹿鳴の滝」と呼ばれる滝が2箇所あります。その滝のある2市町村の正しい組み合わせは次のうちどれ？

- ①置戸町と滝上町 ②津別町と遠軽町 ③置戸町と遠軽町 ④津別町と滝上町

答え②

津別町「鹿鳴の滝」は、岩盤が折り重なった7段の階段状の滝で、猟師に追われた鹿がチミケツ川を上流へと逃れたが、滝を超えることが出来ず鳴いたことからきているそうです。また、遠軽町丸瀬布「鹿鳴の滝」は、周辺に鹿が多く生息し、水を飲みに来ることから、この名が付けられました。どちらも鹿に由来して名付けられています。

第17問

遠軽町にある有名な岩の名前は次のうちどれ？

- ①瞰望岩 ②生田原岩 ③丸瀬布岩 ④白滝岩

答え①

瞰望岩（がんぼういわ）は、アイヌ語で「インカルシ」、見晴らしの良いところという意味です。「インカルシ」は遠軽の町名の由来でもあり、瞰望岩は町のシンボリックな存在です。頂まで登ってもわずか数分、遠軽町の町並みを見渡すことができ、すばらしい眺望がひろがります。

第18問

人が植えて育てた森林の名称はどれ？

- ①人工林 ②人口林 ③天然林 ④混交林

答え①

森林には、人が植えて育てた「人工林」と、主に自然の力で発生した「天然林」があります。オホーツク地域の人工林で一番多いのはトドマツ林で、次にカラマツ林で、この2種よりは面積がかなり少ないですが、3番目はアカエゾマツ林です。天然林でも、人の手の入っていない原生的な森林のほかに、補植や笹を刈って稚樹が生えてきやすくしたり、木の生長を阻害する「つる」の除去や木を間引いたりするなど、一部人の手が加わった森林があります。

第19問

人工林への手入れのうち、間違っているのはどれ？

- ①下刈 ②間伐 ③除伐 ④討伐

答え④

人工林に関する作業は、草や笹などを刈って木を植える準備をする「地（じ）ごしらえ」をし、次に、別のところで何年かかけて育てた苗木を植える「植栽」をします。手入れは、植えた木の生長を阻害するほかの草を刈る「下刈（したがり）」や、つるを除去する「つる切り」、植えていない木を除去する「除伐（じよばつ）」、木の生長に伴い込んできたら間引きをする「間伐（かんばつ）」、良質材の生産や下草を生えさせる目的で枝を落とす「枝（えだ）打ち」などを行います。最終的に「主伐（しゅばつ）」で収穫した後は、再度同じ行程を繰り返すことにより、人工林は維持されます。また、これらの作業を行うためには、道路（林道）が必要です。

第20問

人が植えていない天然林でも、同じくらい樹齢の木が並んで並んでいることがあります。それはなぜ？

- ①木が移動した
- ②動物が種を並べた
- ③倒れた木の上に種が落ちてその上に育った
- ④動物が稚樹を食べて一列だけ食べ残したものが育った

答え③

天然林では、地面に無数の稚樹が発生しますが、大きな木の陰では太陽の光が少なく、また、草などに成長を阻害され、なかなか大きくなりません。大きな老木の樹勢が衰退し倒れると、そこには光が入りやすくなります。また、倒れた老木の幹の上に種が落ちると、ほかの草に邪魔されないなど育ちやすく、大きくなりやすくなります。こうして、倒れた幹の上にいくつかの木が育ち大きくなり、やがて倒れた幹は腐り、後には、一列に並んだ木が残ります。これを「倒木更新」と呼びます。天然林では、大きな老木が倒れることなどによって、次世代の木を育てることにつながっています。

第21問

森林と水の関係において、間違っているのは次のうちどれ？

- ①ピーク時の河川流量を抑える
- ②渇水期の河川水量を増やす
- ③水を降水量よりふやして下流に流す
- ④水を降水量より減らして下流に流す。

答え③

森林で覆われていない土地では、土壌の浸透力が低く、降水は地表を流れやすくなっています。一方、森林では、雨が降ると、木の葉の集まり（樹冠）で水を受けたり、根から水を吸収するなど、木も水の消費者です。従って、降水量より、森林から下流に流れる水量は減ります。また、森林の形成過程で、土壌はスポンジのようになり、地面に届いた降水は、地表を流れず、土壌に浸透します。その結果、森林の下流では、降水後に一気に水量が増すということはありません。また、水は地下浸透後、徐々に下流に向かいますので、雨の少ない渇水時にも、森林のない土地の下流に比べ、水量は多くなります。従って、森林は自然の「ダム」と言われています。

第22問

次の山火事の原因のうち、オホーツク地域の過去10年間（H24～R3）で一番多いのはどれ？

- ①ゴミ焼却 ②落雷 ③焼畑 ④火入れ地拵

答え①

山火事の原因は、ゴミ焼き、火遊び、焚き火、たばこ・マッチが多いですが、火入れ（造林のための地拵、害虫駆除）や落雷による火事も過去に起きています。入林の際は火の元に十分注意しましょう。

第23問

現在、オホーツク管内の森林の約8割の森林については、ある団体の森林認証を取得しました。その団体の名称は？

- ①SGEC ②GECS ③ESCG ④CEGS

答え①

森林認証制度とは、行政や業界ではない、独立した第三者機関が、申請のあった森林を審査し、持続可能な経営が行われている森林を認証する制度です。オホーツク管内では、網走西部流域では約33万ヘクタールの森林が、また、網走東部流域では約30万ヘクタールの森林がSGECの森林認証を取得しています。

「緑の循環」認証会議（SGEC）は、日本独自の森林認証を実施するため、2003年に設立されました。

第24問

美幌町では、道内では下川町に次ぐ2番目に、ある国際的な団体の森林認証を取得しました。その団体の名称は？

- ①SFC ②CFS ③FCS ④FSC

答え④

森林認証制度とは、行政や業界ではない、独立した第三者機関が、申請のあった森林を審査し、持続可能な経営が行われている森林を認証する制度です。森林管理協議会（FSC）は、国際的な森林認証の団体で、1993年にカナダで設立されました。現在の国際本部はドイツのボンにあります。

【樹木関係】

第25問

次の特徴がある北海道の代表的な木の名前は？

- 「北海道の木」に指定されていて、類似するトドマツの幹はすべすべしているのに対し、表面がガサガサしている。
- 材質が均一でピアノの鍵盤としても有名。
- ヤチシンコまたはテシオマツという俗名がある。
- ①アカエゾマツ ②イチイ ③トドマツ ④カラマツ

答え①

アカエゾマツ ◎マツ科トウヒ属

高さ30～40m、太さ1m以上になる常緑針葉樹。

(名前の由来)

エゾマツに似ており、幹がやや赤黒いことによる。

第26問

次の特徴がある木の名前は？

- 日本の針葉樹のうち唯一の落葉樹で秋には葉を黄金色に染める。
 - 材は割れや狂いが出やすく、戦後に炭鉋や工事で使う坑木や電信柱用に植えられた。
 - 最近加工技術の進歩で欠点が克服され、合板や集成材として見直されている。
- ①トドマツ ②カラマツ ③エゾマツ ④トウヒ

答え②

カラマツ ◎マツ科カラマツ属（別名：ラクヨウ ニホンカラマツ）

もともと北海道には自生していないが、現在では北海道の代表的な造林樹種。

（名前の由来）

中国の唐絵に描れたマツに似ていることから「唐松」、落葉するマツであることから「落葉松」、転じてカラマツとなった。

第27問

次の特徴がある木の名前は？

- 信州や北海道に多く、光沢のある白い樹皮と葉のコントラストが特徴。
 - 自然界では、山火事や山崩れなどの跡地に真っ先に生え早く土に還る先駆種のひとつ
 - 樹液には美容効果や薬効があるといわれ、フィンランドでは春になるとこれを飲む風習がある。
- ①カツラ ②イタヤカエデ ③キハダ ④シラカンバ

答え④

シラカンバ ◎カバノキ科カバノキ属（別名：シラカバ）

幹の白さが印象的。

北国を象徴する代表的な落葉広葉樹であるが、花粉症の原因となる植物でもある。

（名前の由来）

樹皮が白く、「白皮」からきている。

第28問

次の特徴がある木の名前は？

- 名の由来は枝や幹に水分が多く燃えにくいことから。
 - 材はウィスキーの樽などを作る材料やシイタケの原木とされる。
 - 秋には実（ドングリ）が熟す。
- ①ミズナラ ②カシワ ③ドロノキ ④ホオノキ

答え①

ミズナラ ◎ブナ科コナラ属（別名：ナラ、通称：ドングリ）

北海道の代表的な広葉樹。用材としての価値が高い。

（名前の由来）

材に多量の水分が含まれていることによる。ナラとは、古語で「しなやか」になる形をナラナラといい、若枝がしなやかなことからついたという説がある。

管内では、津別町の双葉のミズナラ、最上のミズナラが巨木として有名。

第29問

オホーツク地域の市町村の木のうち、制定数が一番多いのは次のどれ？

- ①イチイ ②ニレ ③ミズナラ ④シナノキ

答え①

イチイ（オンコ）は、美幌町、清里町、訓子府町、西興部村の4町村の木になっています。材は美しく、床柱や彫刻、家具材などに利用されています。ちなみに2番目に多いのは、紋別市、大空町、興部町の3市町で制定されているナナカマドです。なお、ナナカマドは、鳥などに果実を食べてもらってフンから出してもらわないと、発芽率がきわめて低いそうです。野鳥と共生関係にあるといってもいいでしょう。

第30問

オホーツク地域で植えられている面積が最も多い木の種類は？

- ①エゾマツ ②アカエゾマツ ③トドマツ ④カラマツ

答え③

オホーツク地域で植えられている面積が最も多い木はトドマツ、次がカラマツです。ちなみに、国有林と道有林を除くと、カラマツ、トドマツの順に順位が入れ替わります。なお、エゾマツは、苗木の育成が困難なため、ほとんど植えられていません。

第31問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、秋に葉が赤くなるのは？

- ①イタヤカエデ ②ミネカエデ ③ハウチワカエデ ④カシワ

答え③

秋になると、落葉広葉樹は葉の色を変えますが、葉の中に含まれる色素の違いから、赤くなる種類の木と、黄色くなる種類の木があります。ハウチワカエデの紅葉は見事です。

第32問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、実（又はつぼみ）の形が名前の由来なのは？

- ①キタコブシ ②カシワ ③エゾマツ ④イヌエンジュ

答え①

キタコブシの実（又はつぼみ）は赤く、子どもの握り拳のような形をしていることに由来しています。また、つぼみの形が拳に似ているからという説もあります。雪解け後にいち早く白い花を咲かせます。

第33問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、幹の特長が名前の由来なのは？

- ①アズキナシ ②イタヤカエデ ③トドマツ ④キハダ

答え④

キハダの幹は表面がコルク質で、それを剥がすと黄色い肌が表示されることから名前が付けられています。その黄色い皮を干して乾燥させたものは黄柏（おうばく）と呼ばれ、薬として利用されています。

第34問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、葉が手の形をしていて、長さが10～30センチメートルあり、「天狗のうちわ」と呼ばれているのは？

- ①ミズナラ ②ミズキ ③カツラ ④ハリギリ (センノキ)

答え④

ハリギリは、葉の大きなところが桐に似ていて、針があることが名前の由来です。建築材、家具材などに利用されています。

第35問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、リスが大好きな固い殻の実を付けるのは？

- ①イチイ (オンコ) ②ナナカマド ③オニグルミ ④ヤマグル

答え③

オニグルミは、実を食用に利用するほか、木材は家具などに利用されています。冬芽の近くには、猿の顔に見立てられる模様があります。

第36問

オホーツク地域に自生する次の木のうち、冬芽がハサミの先のように二股に分かれているのは？

- ①オオカメノキ ②ホオノキ ③オニグルミ ④ハリギリ (センノキ)

答え①

オオカメノキは、大きな葉が2枚並んで付き、春には白い花が咲く低木です。葉の形と葉脈の様子が亀の甲羅を思わせるからその名が付いたという説があります。

第37問

オホーツク地域に自生する次の低木のうち、薬用として使われない、二つの実がくっついた形になるものは？

- ①ヒョウタンボク ②エゾウコギ ③エゾニワトコ ④タラノキ

答え①

赤い実が二つ重なってひょうたんの形になるヒョウタンボクは、別名ヨメコロシの名のとおり毒があります。選択枝のほかの低木は、薬用としての効能があります。

第38問

オホーツク地域に生育する次のハギのうち、木なのは？

- ①センダイハギ ②エゾヤマハギ ③コゴメハギ (シロバナシナガワハギ) ④エゾミソハギ

答え②

エゾヤマハギは夏から秋に赤紫色の花を付ける、三つ葉の低木です。園芸用のほか、マメ科の植物で根粒菌と共生しているため窒素固定能力があり、肥料木としても使われています。

第39問

次の落葉広葉樹のうち、オホーツク地域に元々自生していたのは？

- ①ニセアカシア ②ライラック ③エルム ④ポプラ

答え③

エルムとはハルニレのことで、北海道に元々自生しています。

第40問

美幌町豊富にある木と佐呂間町仁倉の木は幹周りが5メートル以上あります。いずれも「北海道の巨樹・名木」に選ばれています。その木の種類は何ニレ？

- ①ノニレ ②ハルニレ ③アキニレ ④オヒョウニレ

答え②

ハルニレは、全道に分布している落葉広葉樹で、単に「ニレ」、また、「アカダモ」、「エルム」とも呼ばれ、家具材や楽器材に利用されています。

第41問

紋別山頂公園に至る道路沿いであって、幹周りが7メートルを超える道内でも屈指の巨木であり、「北海道の巨樹・名木」に選ばれている木があります。その木の種類は何？

- ①カラマツ ②カツラ ③カワヤナギ ④カンボク

答え②

カツラは、全道に分布している落葉広葉樹で、家具材や彫刻材のほか、囲碁や将棋の盤に利用されています。また、置戸町鹿の子沢の三本桂（かつら）は、根元から株立ちした三本の大木が空高くそそり立ち、全国の国有林の中から「森の巨人たち100選」に選ばれています。

第42問

網走市の能取岬にほど近い美岬にある国有林にある「森の巨人たち100選」に選ばれた巨樹は何ダモ？

- ①シロダモ ②アオダモ ③アカダモ（ハルニレ） ④ヤチダモ

答え④

ヤチダモは、全道に分布していて、ややしめったところ（平地～山間）に多く生える落葉広葉樹です。建築材、家具材などに利用されます。ちなみに、選択枝にあるアオダモはバットの材料として有名で、樹皮を水につけると青くなり、染料に使われました。

第43問

北見市端野町緋牛内にあるカシワは、カシワとしては株立ちが1本のものでは全国一の幹周りとなっています。その長さは何メートル？

- ①1 ②3 ③5 ④10

答え③

このカシワは北見市の天然記念物となっています。カシワの葉は大きく、かしわ餅をくるむのに用いられ、材は樽などに利用されています。また、秋に黄葉しますが、冬になっても枯葉は翌春まで残るものが多いです。

第44問

紋別市オホーツク森林公園にある「生きている化石」と呼ばれる珍しい木は、次のうちどれ？

- ①アオダモ ②オニグルミ ③メタセコイア ④カラマツ

答え③

スギ科メタセコイア属。メタセコイアは日本各地の新生代第三紀層の化石に見られ、当初は化石として発見されていることから絶滅していると考えられていました。しかし、1945年に中国四川省磨刀溪村（現在は湖北省利川市）の「水杉（スイサ）」が同種とされ、現存することが確認されたことから「生きている化石」と呼ばれることも多いです。ちなみに、イチョウも「生きている化石」です。

第45問

オホーツク地域に自生する次の植物のうち、つる性でないのは？

- ①サルナシ（コクワ） ②ヤマブドウ ③チョウセンゴミシ ④オオツリバナ

答え④

森には木に巻き付いたり張り付いたりする植物がたくさんあります。これらは木の生育を妨げたりする一方、きれいな花やおいしい実をつけるものもたくさんあります。

第46問

オホーツク地域に自生する植物、サルナシ（コクワ）やミヤマタタビの実は大変甘くておいしいですが、それは、ある果物の仲間だからです。それは何？

- ①イチゴ ②スイカ ③キウイ ④ブドウ

答え③

サルナシ（コクワ）やミヤマタタビの実は、キウイを小さくしたような色や形をしています。森にはほかにも、イチゴの仲間、ブドウの仲間など、甘い実のなるものがたくさんあります。

第47問

オホーツク地域に自生する次の植物のうち、森に入るとき、触らないよう気をつけなければならない、光沢のある3枚の葉が特徴で、秋に紅葉するつる性の植物は？

- ①ヤマウルシ ②ツタウルシ ③ツルアジサイ ④ツルウメモドキ

答え②

ツタウルシは、文字通り「うるし」ですので、木のヤマウルシとともに、その成分、ウルシオールなどにより、触ってかぶれることがありますので、十分気をつけましょう。

第48問

オホーツク地域に自生する次の植物のうち、動物の手の形が語源とされているのは？

- ①イヌエンジュ ②ネコノメソウ ③イタヤカエデ ④クマイザサ

答え③

イタヤカエデやヤマモミジなど、カエデ・モミジの仲間はいくつかあります。カエデとは、「蛙の手」の様な葉の形が語源とされています。また、モミジの語源は、文字通り、「紅葉」又は「黄葉」です。なお、植物学的には、カエデとモミジを区分していません。

第49問

オホーツク地域に自生する次の植物のうち、実の味が語源なのは？

- ①ツリガネニンジン ②カシワ ③ネコヤナギ ④チョウセンゴミシ

答え④

チョウセンゴミシは、五味子と書き、実が甘い、酸っぱい、辛い、苦い、しょっぱいの五つの味がすることから名付けられました。咳止めなどの薬用としても使われています。ちなみに、チョウセンと付いていますが、それは、昔は自生しているとは分からず、朝鮮由来のものしか知られていなかったからです。

第50問

オホーツク地域に自生する次の武器の名前の付いた植物のうち、木なのは？

- ①センボンヤリ ②スズメノヤリ ③マユミ ④スズメノテッポウ

答え③

マユミから弓がつくられたことが、名前の由来です。秋にピンク色の丸みを帯びて変わった形の実を付けます。

第51問

オホーツク地域に自生する次のつる性の植物のうち、幹に巻き付いて登らないのは？

- ①サルナシ（コクワ） ②ツルウメモドキ ③イワガラミ ④ミヤママタタビ

答え③

つる性の植物の多くは、幹に巻き付いて登りますが、イワガラミやツルアジサイ（ゴトウヅル）、ツタウルシなどは、吸着根（付着根ともいう）というもので、幹に貼り付いて登っていきます。また、ヤマブドウは、巻きひげを枝などに絡めて登っていきます。

第52問

ノリウツギ（サビタ）の、冬山を歩いて見かけるその特徴は？

- ①緑の葉が付いている ②幹から樹液が出ている ③花粉が出ている ④乾燥した花が残っている

答え④

冬山でも、スノーシュー（西洋かんじき）があれば、散策を楽しめます。ノリウツギ（サビタ）やツルアジサイ（ゴトウヅル）は、冬でも白い飾り花（本当の花ではない）がドライフラワーのように残ります。

第53問

真冬に、樹木の中にたまっている水分が凍り、体積が増えることで樹木が割れる現象を何というか？

- ①凍土 ②凍裂 ③凍結 ④凍枯

答え②

樹幹に縦の裂け目が出来ているのを見かけると思います。冬、樹木の幹の中にたまった水分が凍結し、凍結することで堆積が増えた水分が樹木を切り裂いて割れる現象を**凍裂**（とうれつ）といいます。 -25°C くらいでこの現象が起きるといわれています。

第54問

網走市の桜の名所、天都山。そこには約千本の桜があります。その種類は？

- ①エゾノツガザクラ ②シウリザクラ ③チシマザクラ ④エゾヤマザクラ

答え④

北海道における花見の対象となる桜の多くは、エゾヤマザクラです。ただし、気象条件の厳しい道東や道北の一部では、チシマザクラの場合もあります。また、比較的温暖な道南や道央の一部では、ソメイヨシノの場合もあります。

第55問

木の幹の切断面にある、それを数えると樹齢が分かるものは？

- ①年金 ②年輪 ③年貢 ④しわ

答え②

一年中暖かい熱帯地方を除く樹木は、だいたい1年に一つ年輪が増えます。そのため、その数を数えるとその木の樹齢が分かります。ただし、地面に近い根際の切断面でなければ、樹齢は分かりません。また、広葉樹では、年輪が分かりにくい樹種もあります。なお、年輪幅の広い方が南向きとの話がありますが、方角と年輪の幅の因果関係はありません。年輪幅が均一ではない原因は様々あると考えられています。その中でも大きな原因の一つに斜面があります。急斜面の針葉樹の根元が、斜面下側に傾きの場合は斜面下側の根元を、広葉樹の根元が斜面下側に傾きの場合は、斜面上側の根元をそれぞれ太らせて年輪幅を広くし倒れないようにしています。このように年輪幅が異なった材を「あて材」と言います。

【山菜】

第56問

春から夏にかけての代表的な山菜であるフキのうち、オホーツク地域に自生するものの標準和名は次のどれ？

- ①トウゲブキ ②アキタブキ ③ヤチブキ ④ホラフキ

答え②

日本に生育するフキのうち、だいたい秋田県以北にあるものはアキタブキという種類です。ちなみに、人の背丈よりも大きくて有名な足寄町のラワンブキもアキタブキの一種です。

第57問

次の山菜のうち、シダの仲間ではないのは？

- ①ゼンマイ ②コゴミ ③ワラビ ④ウド

答え④

ウドは、ウコギ科タラノキ属の多年草。高さは約2-3mに成長し、「ウドの大木」という慣用語もあるが、木ではない。春・初夏に芽吹いた小さな頃には山菜として利用できるが、大きくなると食用にも木材にも適さないことから例えとされたと言われている。

山菜採りやきのこ採りをする時期は、熊に出会う時期でもありますので、鈴で音を鳴らすなどして注意しましょう。

第58問

春に山菜として食べられるある木の芽は、魚の名前が付いています。何ノメ？

- ①サケ ②マス ③ニシン ④タラ

答え④

タラノキという木の芽、タラノメは天ぷらなどで食べられます。

【きのこ】

第59問

次のきのこのうち、オホーツク地域に自生していないのは？

- ①シイタケ ②エリンギ ③タモギダケ ④ベニテングダケ

答え②

エリンギはヨーロッパなどが原産です。なお、ベニテングダケは毒きのこに分類されています。きのこには食べられるものと食べられないものがありますので、素人判断をしないで、専門家に確認しましょう。

第60問

西興部村ではトドマツ林に生えるあるきのこを利用した焼酎が村の特産品となっています。そのきのこは次のうちどれ？

- ①シイタケ ②マイタケ ③マツタケ ④ナメコ

答え③

西興部村は、北海道でも珍しいマツタケの産地です。マツタケは人工栽培が難しく、マツタケ焼酎は天然物が採れた年にしか製造できない幻の焼酎です。

第61問

ラクヨウキノコ（ハナイグチ）が生えているのは何林？

- ①ミズナラ林 ②シラカンバ林 ③トドマツ林 ④カラマツ林

答え④

ラクヨウキノコ（ハナイグチ）は、秋にカラマツ林に生えます。採取の際は、熊に遭遇しないよう、また、道に迷わないよう、十分気をつけましょう。

【木製品関係】

第62問

置戸町は、木で作られた食器などのクラフトで有名ですが、これらの呼び名は次のどれ？

- ①オクラフト ②オケクラフト ③オケトクラフト ④オケトチョウクラフト

答え②

1982年（昭和57年）に開設された置戸地域産業開発センターの活動がきっかけで木工芸品の製作が活発化したため、1988年（昭和63年）にオケクラフトセンター森林工芸館が開設された結果、多数の制作者が育成され、オケクラフトの製作が盛んになりました。

第63問

最近、オホーツク地域の公共施設でも取り入れられているおが屑や樹皮などの製材端材や間伐材を粉碎圧縮した小粒の円筒状固形燃料を使用したストーブは何ストーブ？

- ①ピペット ②ペレット ③ポペット ④パレット

答え②

木質ペレットはオホーツク地域でも津別町、遠軽町、滝上町などで製造されており、二酸化炭素排出削減につながるクリーンなエネルギーとして注目されています。

第64問

木材の周囲が白く、芯が黒っぽいので、彫刻などにすると美しい木は？

- ①白樺 ②ミズナラ ③カラマツ ④イヌエンジュ

答え④

イヌエンジュは、エンジュと呼ばれることもありますが、本当のエンジュは、中国原産の木です。

第65問

遠軽町丸瀬布は、ある楽器の木製部品の生産で有名です。その楽器とは？

- ①ピアノ ②バイオリン ③タンバリン ④木琴

答え①

遠軽町丸瀬布で生産されたピアノの響板や鍵盤板は国産ピアノの7割に使用されているそうです。その原材料は当初はすべて地元のアカエゾマツでしたが、近年は外国産のスプルーース類（アカエゾマツと同じトウヒの仲間）が大半を占めています。

【木育関係】

第66問

北見駅のすぐ近くにある木のおもちゃがいっぱいの施設の名称はオホーツク木の何？

- ①ひろば ②プラザ ③公園 ④遊園地

答え②

「オホーツク木のプラザ」には、大型滑り台、汽車ぼっぼ、ごっこハウス、大木ボール落とし、からくり時計、壁面パズル、木の砂場など、楽しい遊具がいっぱいです。

第67問

「愛林のまち」津別町のシンボルとなるよう作られた建物で、地元の木をふんだんに使った大型遊具やクライミングウォールなどを新たに導入し、子どもたちが木とふれあい、木に学ぶことができるよう2019年4月にリニューアルオープンした施設の名称は？

- ①さんさん館 ②つべつ木材工芸館キノス ③ノンノの森ネイチャーセンター ④シゲチャンランド

答え②

この名称はリニューアルオープン時に愛称を募集し、小学4年生からの提案「キノス」に決定。施設の周りにたくさんの木の巣があること、鳥の巣のようにみんなが集まる場所になってほしいとの願いが込められている。開館時間は9時から17時まで

第68問

北見市留辺蘂町にあり、「世界一のからくりハト時計」や木のおもちゃなどがある、道の駅「おんねゆ温泉」と一体となった施設は何の館（やかた）？

- ①夢林果 ②果夢林 ③林夢果 ④夢果林

答え②

「果夢林」と書いて「かむりん」と読みます。木製品の購入や、木工体験もできます。

第69問

平成27年にリニューアルオープンした美幌林業館の2Fスペースの愛称は何？

- ①かてらす ②きてらす ③こてらす ④とてらす

答え②

平成27年10月、「美幌林業館」の2Fスペースが室内遊具施設「きてらす」としてリニューアルオープンし、オープン以来、子供づれに大人気となっている。愛称の由来は、「木」と、皆が集まる「テラス」を合わせて、皆を「照らす」や「来て」の意味合いも込められている。

第70問

遠軽町には、「木楽館」と「木芸館」の二つの木製品の展示・販売施設があります。道の駅まるせつぷに隣接しているのは？

- ①木楽館 ②木芸館 ③両方 ④どちらも隣接していない

答え②

「木楽館」は遠軽町の中心街にほど近い場所にあり、エゾマツ・トドマツの集成材を使用して建てられた施設です。「木芸館」は道の駅まるせつぷに隣接し、地元産の木材が多く使用されて建てられた施設です。

第71問

西興部村にあり、木のおもちゃや遊具施設がいっぱいある、森の美術館「木夢」、この読み方は次のどれ？

- ①きゆめ ②もくむ ③きむ ④こむ

答え④

西興部村には、「木夢」のほか、森の中のホテル「森夢（りむ）」、道の駅フラワーパーク「花夢（かむ）」、マルチメディア館「IT夢（あとむ）」があり、まさに夢いっぱいの村です。

第72問

遠軽町生田原にあり、世界40カ国1万点の木のおもちゃがある施設は、何「ワールド」？

- ①ちゃちゃ ②ちゅちゅ ③ちょちょ ④ちっちっ

答え①

西洋のお城のような建物の「ちゃちゃワールド」は、木のおもちゃに直接触れて、おとぎの国を体感できる、メルヘンあふれる場所です。

第73問

北海道が認定する森林体験や木工体験など木育活動の企画立案、アドバイス、コーディネートをすることができる指導者のことを何と呼ぶ？

- ① 森林インストラクター ② 森林サポーター
③ 木育マイスター ④ 森林アドバイザー

答え③

「木育マイスター」は北海道が認定する「木育」を普及させる専門家です。

学校や団体から依頼があれば、木育プログラムの企画立案や運営実施のアドバイスやプロデュースをしてくれます。また、自らアクティビティを行う場合もあります。

令和4年3月末現在、北海道が認定した「木育マイスター」は299名となっており、あらゆる世代の道民参加を促すため、全道各地で木育活動に取り組んでいます。

【緑化活動・普及啓発】

第74問

植樹などの緑化活動を行う目的で行われている募金をするともらえるのは何色の羽根？

- ①赤 ②白 ③黄色 ④緑

答え④

植樹などの緑化活動を行う目的で行われている「緑の募金」をすると、緑の羽根がもらえます。緑の募金運動期間は、北海道では、春（4～5月）と秋（9～10月）に行われています。

第75問

全国では初となる「北海道植樹の日・育樹の日条例」が平成30年12月に施行され、「植樹の日」が5月第2土曜日に定められましたが、「育樹の日」の日は次のうちどれ？

- ①8月第1土曜日 ②9月第2土曜日 ③10月第3土曜日 ④11月第4土曜日

答え③

「北海道植樹の日・育樹の日条例」は、道民一人ひとりが植樹及び育樹を通じて、「森林及び樹木に触れて親しむこと」や「北海道の豊かな森林を未来に引き継いでいくことを期する日」などを目的としており、「植樹の日」を5月第2土曜日に「育樹の日」を10月第3土曜日に定めるとともに、5月を植樹月間、10月を育樹月間と定めています。

第76問

平成28年8月11日、新しい国民の祝日が誕生しました。それは何の日ですか？

- ①海の日 ②山の日 ③川の日 ④環境の日

答え②

「山の日」は、2014年（平成26年）に制定され、2016年（平成28年）から施行された日本の国民の祝日の一です。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ということで祝日になりました。8月の祝日は初めてで、年間の祝日は16日間となります。今年は8月11日になります。

第77問

美幌町と生活協同組合コープさっぽろは森林整備の協定を結び、「コープ未来の森づくり」と名付けて町有林内で植樹活動を行っています。さて、“未来”は何と読む？

- ①みらい ②いつか ③あした ④とわ

答え③

美幌町とコープさっぽろは平成21年度（2009年）に協定を結び、令和9年度（2027年）までの第1～3期（19年間）で美幌町所有林に6千本のカラマツを植える予定です。

平成30年度に第3期目の協定を結び、今年は14回目となる植栽を行いました。

【草花関係】

第78問

オホーツク地域の市町村の花のうち、制定数が一番多いツツジは次のうちどれ？

- ①レンゲツツジ ②エゾイソツツジ ③エゾムラサキツツジ ④コヨウラクツツジ

答え③

エゾムラサキツツジは春の風物詩ですが、網走市、美幌町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、西興部村の6市町村の花に制定されています。

第79問

オホーツク海に面する市町村において、市町村の花として制定数が一番多いのは、次のうちどれ？

- ①ハマボウフウ ②ハマハコベ ③ハマエンドウ ④ハマナス

答え④

ハマナスが実をつけると夏の終わりを感じさせてくれる海岸性の灌木ですが、オホーツク海に面する北見市、紋別市、斜里町、興部町、雄武町の5市町村の花に制定されています。また、北海道の花でもあります。

第80問

オホーツク地域の地名がついたスマレは何スマレ？

- ①ニコロ ②ウトロ ③トコロ ④シレトコ

答え④

シレトコスマレは、知床連山と択捉島にしか自生していない、白い花のスマレです。

第81問

フクジュソウが咲くと春を感じますが、オホーツク地域のある地名が付いたフクジュソウがあります。それは何フクジュソウ？

- ①アバシリ ②キタミ ③モンベツ ④エンガル

答え②

北見の地名のつく植物は、キタミフクジュソウのほか、水辺に生えるキタミソウがあります。

第82問

オホーツク地域に見られる次の赤い花のうち、元々自生していたのはどれ？

- ①アケボノセンノウ ②ムシトリナデシコ ③エゾカワラナデシコ ④ウスベニツメクサ

答え③

選択肢にある花はすべてナデシコ科です。エゾカワラナデシコの花は夏に見られます。

第83問

オホーツク地域に見られる次の白い花のうち、元々自生していなかったのはどれ？

- ①ノコギリソウ ②シロツメクサ ③オオバナノエンレイソウ ④コンロンソウ

答え②

シロツメクサは、別名クローバーとも呼ばれている帰化植物です。箱に割れ物を入れる際、詰め物として使ったことが名前の由来です。

第84問

オホーツク地域に見られる次の青い花のうち、元々自生していなかったのはどれ？

- ①ワスレナグサ ②ムシャリンドウ ③エゾエンゴサク ④ハマエンドウ

答え①

歌の題名にもなっているワスレナグサは帰化植物です。この花によく似たエゾムラサキは元々自生しています。

第85問

オホーツク地域に自生する次の黄色い花をつける植物のうち、実をさわると破裂して種がはじけ飛ぶのは何？

- ①ハンゴンソウ ②キツリフネ ③キバナノアマナ ④キジムシロ

答え②

キツリフネは夏から秋にかけて花を咲かせ、実がなります。探して触ってみましょう。

第86問

オホーツク地域に自生する次の黄色の花をつける植物のうち、実が服やズボンによくくっつくのは？

- ①キンミズヒキ ②エゾカンゾウ（エゾゼンテイカ） ③チドリケマン ④オオダイコンソウ

答え①

キンミズヒキは夏から秋に花を咲かせ、実を付けます。野原を歩くと、小さな丸い種がズボンに付いたりします。

第87問

オホーツク地域に生育する次の黄色い花をつける植物のうち、茎や葉を切ると、黄色い液体が出てくるものは？

- ①へびイチゴ ②エゾキケマン ③オニノゲシ ④クサノオウ

答え④

クサノオウは春から夏にかけて花を咲かせます。なお、オニノゲシは帰化植物です。

第88問

オホーツク地域に自生する次のクリーム色の花をつける植物のうち、秋に茶色で卵形の大きな実をつけるのは？

- ①オオアマドコロ ②ヒメイズイ ③オオウバユリ ④バイケイソウ

答え③

オオウバユリの実は、表面が割れやすく、振ると中から薄い種が無数に出てきます。高さは1メートル以上になります。

第89問

オホーツク地域に自生する次の植物のうち、かつてものを研ぐことに使われたことから名前の付いたものは、次のどれ？

- ①スギナ ②トクサ ③つくし ④マンネンズギ

答え②

トクサは砥草と書きます。かつては砥石と同様の使い方をされていました。ちなみに、スギナはトクサ科でその胞子茎が「つくし」です。

第90問

オホーツク地域に自生する植物には、海に生息する生き物の名前の付いたものがあります。何グザ？

- ①ウニ ②ウツボ ③カニ ④ホタテ

答え②

ウツボグサはシソ科の植物で、春から夏にかけて紫色の花を咲かせます。

第91問

オホーツク地域に生育する次の植物のうち、味が名前の由来でないのは？

- ①ムラサキウマゴヤシ ②ハナニガナ ③キバナノアマナ ④オオアマドコロ

答え①

ムラサキウマゴヤシの「うま」は「美味しい」ではなく「馬」で、別名アルファルファという牧草です。現在では、至る所で野生化しています。選択肢のほかの植物は、「苦い」や「甘い」が名前の由来です。

第92問

オホーツク地域の湿原に自生する次の植物のうち、食虫植物は？

- ①ヒメシャクナゲ ②ワタスゲ ③モウセンゴケ ④アカエゾマツ

答え③

モウセンゴケは、泥炭の堆積などにより地下水位より地面が高くなった、高層湿原に現れる種で、土壌の栄養分が少ないことから、虫の栄養を利用していると考えられます。なお、アカエゾマツは、ほかの樹木が育ちにくい、岩地や湿地などに純林をつくることがあります。

第93問

オホーツク地域に生える次の帰化植物のうち、赤い花を付けるのは？

- ①ムシトリナデシコ ②エゾノギシギシ ③セイヨウミミナグサ ④カラフトホソバハコベ

答え①

ムシトリナデシコは、茎などがべたべたして、虫を捕まえられそうなことからその名が付けました。実際は、虫は捕りません。また、エゾノギシギシは、名前に「エゾ」が付いていますが、帰化植物です。

第94問

オホーツク地域の森の中でも林道沿いなどの明るい場所では、次の植物がよく生えています。そのうち、帰化植物でないのはどれ？

- ①コウリタンポポ ②アメリカオニアザミ ③ハンゴンソウ ④オオハンゴンソウ

答え③

ハンゴンソウは、葉の形と付き方が、手のひらで人を招いているように見えることから、「反魂草」という名前になりました。知床では、この草をシカが食べないため増えていると言われています。オオハンゴンソウはハンゴンソウと葉の形は同じに見えますが、大きな菊の花を付けるのが特徴の帰化植物で、生きたままの移動などが禁止されている特定外来生物です。

第95問

オホーツク地域に生育する次の植物のうち、薬用として効くことが名前の由来でないのは？

- ①ゲンノショウコ ②フランスギク ③オオイタドリ ④ジンヨウイチャクソウ

答え②

帰化植物のフランスギクは菊であって「効く」ではありません。ゲンノショウコは「現の証拠」、オオイタドリは「大痛取」、ジンヨウイチャクソウは「腎葉一葉草」で、それぞれ、薬用としての特徴から名前が付いています。

第96問

オホーツク地域でも多く見られる毒草として有名なトリカブト。このトリカブトと同じキンポウゲ科の植物ニリンソウは山菜として人気があるが、トリカブトとニリンソウの区別は花の色で見分けることが出来る。トリカブトが紫色に対し、ニリンソウは何色。

- ①黒 ②赤 ③白 ④黄

答え③

春になると群生し咲き出すニリンソウは、山菜として好まれており「おひたし」などで食されることが多い。しかし、毒草として有名なトリカブトと葉の形がそっくりで、生育場所も同じような場所であることが多いので注意が必要です。ニリンソウは、白い花が目印となるが、この花のようなものは花びらではなく、がくが花びら状になったものです。

春先、ニリンソウは白い花を付けますが、ヤマトリカブトは秋に紫色の花を付けます。
(初心者は白い花を確認して摘みましょう。)

第97問

オホーツク地域の次の原生花園のうち、一番北にあるのはどれ？

- ①オムサロ原生花園 ②ワッカ原生花園 ③小清水原生花園 ④以久科原生花園

答え①

オホーツク地域には、問題の選択肢のほかにも、海岸、高山などに多数の原生花園や湿原があり、春から秋にかけて、様々な花が私たちを楽しませてくれます。なお、ワッカ原生花園と小清水原生花園は北海道遺産に登録されています。

第98問

小清水町の花は、小清水原生花園に咲くオレンジ色のユリです。その名称は？

- ①クロユリ ②エゾキスゲ ③エゾゼンテイカ ④エゾスカシユリ

答え④

6月から7月にかけて、エゾスカシユリは、小清水原生花園ばかりではなく、道路の近くの至る所に咲いています。探してみてください。

第99問

小清水原生花園周辺では、6月から7月にかけて、一面に黄色いユリの花が咲きます。その名称はエゾ何？

- ①キスゲ ②キケマン ③キスマレ ④キンポウゲ

答え①

オホーツク地域には、エゾキスゲによく似た花、エゾゼンテイカ（エゾカンゾウ、ニッコウキスゲ）もあります。こちらの花の方が、エゾキスゲより若干濃い色をしています。

第100問

大空町東藻琴と滝上町はどちらもシバザクラで有名ですが、訓子府町にも一面がシバザクラで覆われる公園があります。その公園の名称は？

- ①道立オホーツク公園 ②レクリエーション公園 ③香りゃんせ公園 ④いずみの森 来運公園

答え②

レクリエーション公園は、平成8年の開園以降、憩いの場として町内外多くの人々に親しまれています。春にはエゾヤマザクラやシバザクラが鮮やかに色付き、夏にはバーベキューやピクニック、秋には紅葉、そして冬にはスキーと、季節を堪能することができます。ちなみに、道立オホーツク公園は網走市、香りゃんせ公園は北見市、いずみの森来運公園は斜里町にあります。

第101問

大空町には女満別湿性植物群落があり、雪解け後には白い花で埋め尽くされます。この花の種類は何ですか？

- ①シロツメクサ ②ミズバショウ ③クレソン ④エゾニュウ

答え②

網走湖南部東岸を通るJR女満別・呼人両駅間沿線（湖岸）の低湿地には、ヤチダモ・ヤチハンノキをおもな上木とする落葉広葉樹の自然林が約2キロメートルにわたって帯状に続いている。その中に、国の天然記念物「女満別湿生植物群落」があり、日本でも最大級の面積のミズバショウ群落が広がっています。敷地内に自然散策用の木道があります。

第102問

「夏の思い出」で歌われるミズバショウ。オホーツク地域でも網走湖畔や湧別町芭露地区に群生地がありますが、白い花のように見えるものは花ではなく何？

- ①花卉 ②がく ③柄 ④苞

答え④

道内の湿原地帯に多く見られるミズバショウはサトイモ科の植物で純白の白い花のようなものは葉が変形した仏炎苞（ぶつえんほう）と呼ばれるものです。

第103問

能取湖などで秋に赤く染まるアッケシソウは、海にある別の生き物の名前と呼ばれています。それは何ソウ？

- ①ウニ ②コンブ ③ワカメ ④サンゴ

答え④

毎年9月下旬に「能取湖さんご草まつり」が実施されるなど、能取湖には有数のサンゴソウ群生地があります。サンゴソウはサロマ湖畔でも見られます。

第104問

小清水町にある濤沸湖に隣接する白鳥公園には、6月から7月にアヤメの仲間が咲きます。その名称は？

- ①カキツバタ ②ノハナショウブ ③ヒオウギアヤメ ④ジャーマンアイリス

答え③

濤沸湖周辺では、ヒオウギアヤメを雑草から守るため、ポニーを放牧して、雑草を食べさせています。ヒオウギアヤメには毒があるため、ポニーは食べません。斜里岳をバックにこの光景が見られますので、観光スポットとなっています。

第105問

紋別市のコムケ湖周辺に生えている、道具の名前がついた植物は次のうちどれ？

- ①カナヅチソウ ②ノコギリソウ ③カンナソウ ④ペンチソウ

答え②

コムケ湖周辺では、あちこちでノコギリソウが群落を作っています。花の色は濃い赤から白っぽいピンクと変異が多く、枯れた花は冬まで残り、天然のドライフラワーになっています。

第106問

津別町の町民の森自然公園では、6月頃、日本に自生するサクラソウ科の仲間では最大の花が一面に咲きます。その花の名称は？

- ①シチリンソウ ②ハチリンソウ ③クリンソウ ④ジュウリンソウ

答え③

クリンソウは、山間地の、比較的湿潤な場所に生育し、時に群生する。高さ50cmほどになり、日本に自生するサクラソウ科の植物のなかでは最も大型である。花は6月から7月頃に咲き、花茎を出して2～5段に輪生させる。色は紅紫色で直径2～2.5cm。町民の森自然公園では、毎年6月に「クリンソウまつり」が開催されています。

【動物関係】

第107問

世界自然遺産の地、知床にある斜里町では、町の鳥が制定されています。国の天然記念物にもなっているこの鷺は、次のどれ？

- ①ハクトウワシ ②イヌワシ ③オジロワシ ④トビ

答え③

オジロワシはオオワシと共に国の天然記念物に指定されています。どちらも翼を広げた長さが2メートルを超える国内最大級の鷺で、この2種類の鳥が並んで止まっていることもよくあります。オオワシは日本では繁殖しませんが、オジロワシは一部が北海道で繁殖します。

第108問

ラムサール条約登録湿地、濤沸湖のある小清水町では、町の鳥が制定されています。濤沸湖の代名詞にもなっているこの鳥は、次のどれ？

- ①オオハクチョウ ②ユリカモメ ③オナガガモ ④トビ

答え①

濤沸湖の代名詞になっているのはオオハクチョウやコハクチョウですが、問題の選択肢にある他の鳥も、濤沸湖では多数見られます。特に、カモ類やカモメ類は、種類も数も多く、春と、秋から冬にかけての渡りの時期は湖面を埋め尽くしています。

第109問

木でつくられた食器などのクラフトで有名な、置戸町では町の鳥が制定されています。黒くて大きいこのキツツキは、次のどれ？

- ①コゲラ ②アカゲラ ③アオゲラ ④クマゲラ

答え④

オホーツク地域では、選択肢のいずれのキツツキも生息していますが、全長が40センチメートルを超える国内のキツツキ類で最大であり、国の天然記念物でもあるクマゲラは、自然豊かな森を表すシンボリックな鳥です。逆に一番小さいキツツキ類はコゲラで、林の中で聞こえるギーという鳴き声の特徴です。

第110問

オホーツク地域に生息する次の白と黒を基調とした小型鳥類のうち、長いネクタイを締めたようだと形容されるのはどれ？

- ①コガラ ②ハシブトガラ ③ヒガラ ④シジュウカラ

答え④

シジュウカラの胸には黒い縦の太い線があり、黒いネクタイを締めているようです。また、コガラとハシブトガラは黒いベレー帽をかぶったようで、ヒガラは蝶ネクタイをしているようだと形容されています。

第111問

オホーツク地域に生息する次の鳥類のうち、デーデーポップと鳴くのはどれ？

- ①(ミヤマ)カケス ②ハシブトガラス ③(エゾ)フクロウ ④キジバト

答え④

キジバトは北海道では夏鳥で、森などで聞こえるデーデーポップという鳴き声に特徴があります。なお、よく公園などで見られるドバトは、ヨーロッパ原産のカワラバトが伝書鳩として放されたものが野生化したものです。

第112問

紋別市大山で見られる日本三鳴鳥は次のうちどれ？

- ①ベニマシコ ②オオルリ ③ヒバリ ④カッコウ

答え②

日本三鳴鳥はオオルリの他、コマドリ、ウグイスがいます。オオルリは、毎年5月初旬に紋別に来て子育てをしたのち、10月に南に向けて旅立っていきます。

第113問

興部の浜で夏に集団で海水を飲んでいる姿が見られる「アーオー、アーオー」と鳴く鳥は次のうちどれ？

- ①ドバト ②カラスバト ③アオバト ④キジバト

答え③

アオバトは普段は森の中に住んでいますが、海岸に海水を飲みに来る習性があります。小樽市ではアオバトが市の鳥に制定されていますが、興部町では町の鳥は制定されていません。

第114問

次の甲虫のうち元々オホーツク地域に生息していなかったのは？

- ①ミヤマクワガタ ②ノコギリクワガタ ③コクワガタ ④カブトムシ

答え④

カブトムシは元々北海道には生息していませんでしたが、店から購入して飼育されていたものが逃げ出して生息するようになりました。

第115問

冬が近くなると空中を飛び交う雪虫は何の仲間？

- ①ハエ ②カ ③アリ ④アブラムシ

答え④

雪虫は、トドネオオワタムシなどのアブラムシの仲間、白い物質を分泌して体全体を覆っています。

第116問

オホーツク地域で春に鳴くセミは、次のどれ？

- ①アブラゼミ ②ミンミンゼミ ③ツクツクボウシ ④エゾハルゼミ

答え④

透明な羽、胸部に緑と黒い紋。オスの腹部は太く大きく薄い袋になっていて半透明。オレンジ色～黄土色が目立つ。体長はオスの方がやや大きい。メスの体幅は狭くほっそりとしている。鳴き声は図鑑などでは「ミョーキン、ミョーキン、ミョーキン、ミョーケケケケケケー」などと書かれる非常にユニークなもの。朝から夕方まで精力的に鳴く。

第117問

次の両生類のうち元々オホーツク地域に生息していなかったのは？

- ①トノサマガエル ②アマガエル ③エゾアカガエル ④エゾサンショウウオ

答え①

トノサマガエルやウシガエルは元々北海道には生息していませんでしたが、食用などを目的として養殖されていたものが逃げ出したりして生息するようになりました。

第118問

オホーツク地域の冬山に見られる次の動物の足跡のうち、左右の足跡の間に進行方向に長く線が付いている場合、可能性があるのはどれ？

- ①エゾユキウサギ ②エゾヤチネズミ ③エゾリス ④エゾタヌキ

答え②

問題の足跡は、ネズミの仲間に共通する特徴です。エゾユキウサギやエゾリスは後ろ足の長い跡が左右に付き、真ん中に、前足の小さな跡が真ん中に進行方向に対して前後に付きます。

第119問

オホーツク地域の次の動物のうち、夏と冬で外観を変えないのは？

- ①エゾライチョウ ②エゾシカ ③エゾユキウサギ ④エゾクロテン

答え①

本州に生息するライチョウは冬に白くなりますが、種が異なるエゾライチョウは、通年で外観が同じです。選択肢のほかの動物は、夏毛と冬毛の様子が明らかに違います。

第120問

オホーツク地域に生息する次のネズミ目（齧歯類）の動物のうち、冬眠するのは？

- ①エゾリス ②エゾシマリス ③エゾモモンガ ④エゾヤチネズミ

答え②

北海道に生息する動物で、冬眠するのは、なんといってもヒグマですが、シマリスも冬眠します。シマリスは、ユーラシア大陸北部に生息していて、そのうち北海道に生息する亜種をエゾシマリスと呼んでいます。

第121問

石狩山地や北見山地などに生息しているナキウサギ。最初に捕獲されたのは次のどこ？

- ①石狩市 ②北見市 ③遠軽町 ④置戸町

答え④

ナキウサギは1928年（昭和3年に）置戸町ではじめて捕獲されました。オホーツク地域では、遠軽町にも生息しています。

第122問

紋別市にある国内で唯一の海獣専門保護施設の名はオホーツク何センター？

- ①しっかり ②とっかり ③うっかり ④きっかり

答え②

「とっかり」とはアイヌ語でアザラシの意味。とっかりセンターでは、ゴマフアザラシを中心にアザラシのみが飼育されています。飼育されているアザラシの他、怪我や魚網に絡まって保護されたアザラシは、野生に戻るための治療と訓練を行った後、紋別沖の海に返されます。

第123問

エゾシカの特徴のうち、間違っているのはどれ？

- ①野生で北海道に生息するのは50万頭を超えると見られる ②成獣のオスの角は毎年生え替わる
③人が捕獲しないと3～4年で2倍の数に増えると見られる ④木は食べない

答え④

シカは木の皮を食べて枯らしてしまう場合があります。そのほか、牧草などの農作物を食べてしまうこともあります。北海道では非常に数が増えていて、今では身近によく目にする野生動物といってもいいでしょう。

第124問

ヒグマの特徴のうち、間違っているのはどれ？

- ①野生で北海道に生息するのは数千頭と見られる ②メスは冬眠中平均2頭の子を産む
③動物しか食べない ④人がヒグマに襲われる事故は春と秋に多い

答え③

ドングリが山であまりならないと人里に出てくることが増えるといわれているように、ヒグマは植物もよく食べます。ヒグマが冬眠から出てきて栄養が不足している春や、冬眠に備えて栄養を蓄える秋は、人が山菜採りやきのこ採りをする時期と重なるため、ヒグマと遭遇する確率が高まりますので、鈴を付けるなどして、十分気をつけましょう。

第125問

鳥獣保護区の説明のうち、間違っているのは？

- ①狩猟が禁止されている ②国が指定する場合と都道府県が指定する場合がある
③特別保護地区では開発に制限がかかっている ④鳥獣を捕まえて保護していい

答え④

鳥獣保護区では、鳥獣を捕まえるのが禁止されています。オホーツク地域には、50近くの北海道指定の鳥獣保護区があります。

第126問

野生動物の生息数調査に関する説明のうち、間違っているのはどれ？

- ①野生動物の生息数は種類ごとにおおよそ分かっている
- ②エゾシカの生息数は全道にいくつかある調査箇所における出現数の増減から推測している
- ③国は、かすみ網による野鳥の捕獲を、調査にほぼ限定して許可している
- ④水鳥は、毎年日を決めて各調査地点で一斉に調査する

答え①

動物は植物と違って移動するため、生息数調査はきわめて困難です。森林などに生息しているは、見つけるのも非常にたいへんです。特に、アザラシなどの水棲生物は、水の中にいるため、調査がもっとも困難です。

【自然関係】

第127問

濤沸湖はオホーツク地域で唯一ラムサール条約登録湿地に指定されていますが、指定面積は約何ヘクタール？

- ①9
- ②90
- ③900
- ④9000

答え③

オホーツク地域にはラムサール条約登録湿地があるなど、自然が豊かで、動植物が多数生息しています。濤沸湖は2005年に900ヘクタールの区域がラムサール条約登録湿地に指定され、近年、国の特別天然記念物のタンチョウも繁殖しています。

第128問

知床は世界自然遺産に指定されていますが、自然遺産登録は国内何番目？

- ①1
- ②2
- ③3
- ④4

答え③

オホーツク地域には世界自然遺産があるなど、自然が豊かで、動植物が多数生息しています。知床は、1993年に登録された屋久島、白神山地に続き、国内3番目として、2005年に世界自然遺産に登録されました。ヒグマが生息するなど、雄大な自然が魅力です。

第129問

森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなど、森林環境を総合的に使いながら健康を増進させる取組を森林セラピーと言いますが、管内で「森林セラピー」の基地認証を受けているのはどこ？

- ① 斜里町 ② 津別町 ③ 美幌町 ④ 興部町

答え②

津別町は、「森林セラピー」の基地認証を平成23年に受け、北海道内では鶴居村（中止中）に次いで2カ所目ですが、実際に稼働している北海道で唯一の「森林セラピー基地」です。

なお、現在、全国65箇所の森林が認定を受けています。

第130問

日本最北の高層湿原「ピヤシリ湿原」がある市町村はどこ？

- ① 紋別市 ② 興部町 ③ 雄武町 ④ 西興部村

答え③

標高986.6mのピヤシリ山頂から雄武町側へ約4km入った地点に、日本最北の高層湿原「ピヤシリ湿原」があります。アカエゾマツの林床に生える、モウセンゴケ、ワタスゲ、ヒメシャクナゲなどからなる植物群落は、美しい花々の絨毯のようになります。